

令和5年産

仙南稲作情報（臨時号）

令和5年8月2日発行

宮城県大河原農業改良普及センター

TEL : 0224-53-3496 FAX : 0224-53-3138

※この資料に関する問い合わせは、
上の連絡先までお願いします。

○7月の平均気温は、平年と比較してかなり高い
（平年+3.4℃）。

○仙南管内全体の出穂期は7月28日
（平年より4日早い）。

1 気象経過（丸森アメダス、7月1日～7月31日）

- 7月の平均気温は、平年と比較してかなり高く推移した（平年+3.4℃）。また、降雨量は平年の3分の1程度、日照時間は平年比163%で推移している。

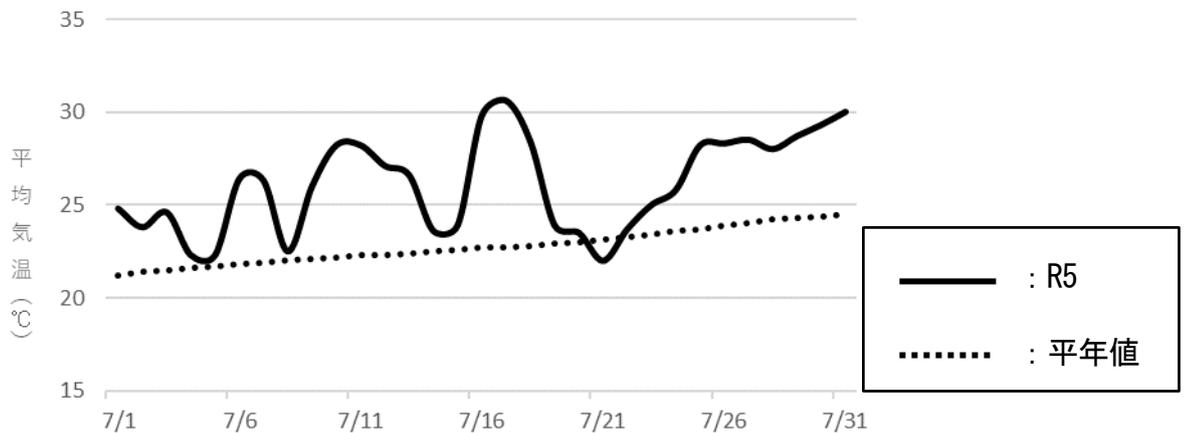


図1 気象経過（丸森アメダス、7月1日～7月31日）

※仙台管区気象台（7/27 発表）の「向こう1か月の天候の見通し」では、東北地方太平洋側の日照時間と降水量はほぼ平年並、気温は高い見込みで、特に期間の前半（7/29～8/11）は、高くなる見込みです。



（参考）

気象庁「高温に関する早期天候情報（東北地方）」

2 管内の生育状況

【7月31日調査結果】

（管内出穂状況調査の結果）

- 仙南管内全体では、出穂期が平年より4日早い7月28日となっている。

□ 管内の出穂状況（7月31日）

市町村名	水稲作付 見込面積 (ha) 注1	出穂に達した 面積 (ha) 注2	進行率 (%)	進 行 月 日 (月/日) 注3		
				出穂始期	出穂期	穂揃期
白石市	907	552	60.9%	7/24	7/30	未
蔵王町	524	429	81.9%	7/23	7/27	未
七ヶ宿町	96	3	3.1%	未	未	未
大河原町	249	224	90.0%	7/23	7/27	未
柴田町	469	420	89.6%	7/23	7/27	未
村田町	499	345	69.2%	7/23	7/28	未
川崎町	575	292	50.8%	7/25	7/31	未
角田市	2,013	1,610	80.0%	7/23	7/27	未
丸森町	755	363	48.1%	7/24	未	未
管内合計	6,086	4,238	69.6%	7/23	7/28	未

注4) (参考) 平年値 7/28 8/1 8/10

注1) 作付見込面積は令和4年産の水田における作付状況(令和4年9月15日時点)の主食用米面積を用いた。

注2) 端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

注3) 出穂始期、出穂期、穂揃期は、進行率がそれぞれ5%、50%、95%に達した時期をいう。

注4) 平年値は平成25～令和4年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値。

3 今後の管理

登熟期間中に最高気温や夜温が高い状況が続くと、登熟不良や白未熟粒等が発生しやすくなります。さらに出穂後10日間の最高気温が高いほど、胴割粒の発生が多くなります。

できる限り、下記の対策を行い、「白未熟粒」の発生を防ぎましょう。

【高温時の対策の例】

掛流しかんがい	気温より温度の低い用水を十分に掛け流すことで、水温及び地温を湛水状態より低く抑える方法。ただし、10a当たり毎分200～300リットル程度の用水が必要。
昼間深水・夜間落水管理	掛流しかんがいよりも水温及び地温を低下させる効果は小さいが、十分な用水量を確保できない場合でも実行しやすい方法。午前9～10時頃かん水し、気温が水温を下回り始める午後4時頃に落水。
飽水管理	掛流しかんがい程の効果は得られないが、慣行(常時湛水)よりも夜間の最低地温が低くなるとともに、根の活力維持に効果あり。

4 その他

管内の出穂期は平年より早くなっています。今後の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込むことになるので避けましょう。また、薬剤防除は、穂揃期とその7～10日後の2回防除が基本です。穂揃期に遅れずに薬剤防除しましょう。

○令和5年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

○熱中症に注意しましょう。